

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 24-003

PDCA	事務事業名	都市計画マスタープラン改定事業	部課等名	建設部都市計画課 都市計画担当	担当	林	
					内線等	446	
<b>P</b> 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち					
		節： 第2節 都市基盤の整備					
		基本施策： 1. 市街地整備					
		単位施策： 個別施策：					
	根拠法令等	都市計画法					
	対象・目的	市の都市計画に関する基本的な方針を定めた都市計画マスタープランについて、現行の計画期間（平成23年度～令和2年度）満了に伴い、社会情勢の変化を踏まえ改定を行う。併せて、都市構造の集約に向けた施策を定めた立地適正化計画を策定する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	上位計画である総合計画との整合を図りながら、市民アンケート、ワークショップ、策定委員会及びパブリックコメントにより、市民の意見を反映させる。					
<b>D</b> 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	R1年度	単位	
		策定委員会の開催	-	-	2	回	
		事業費	-	-	12,747	千円	
		人件費	-	-	5,589	千円	
		総事業費	-	-	18,336	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	R1年度	単位	
		-	-	-	千円		
	成果	成果指標	29年度	30年度	R1年度	単位	
		全体構想の素案の策定	実績値	-	-	100	%
			目標値	-	-	100	
		実績値					
		目標値					
	実績値						
	目標値						
<b>C</b> 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない				
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地	—		
	事業の評価・課題	<b>B</b> 市民アンケートや策定委員会を通じて市民の声を聴取し、都市計画マスタープランについては土地利用や都市交通など都市施設整備の方向性を全体構想の素案としてまとめ、立地適正化計画については、都市機能誘導区域の設定の方向性を素案としてまとめた。					
<b>A</b> 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<b>現状維持</b> 各中学校区ごとで開催するワークショップや策定委員会、パブリックコメントを通じて、市民の意見を聴取し、令和2年度中に都市計画マスタープラン及び立地適正化計画を策定する。					
	令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		都市計画マスタープランの策定			目標値	100 %	
					目標値		
				目標値			